

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

E. 学習・研究環境の改善

⑤その他

●一橋大学経済学研究科経済理論・経済統計専攻

「文系修士課程における金融工学教育モデル」の事例

(具体的に何を実施したのか)

- ・活動拠点として、学内に金融工学教育センターを設立した。学生用固定机を相当数配置し、PCや高度なワークステーションなどの十分な機器を備えている。またデータベース、専門的な計算ソフト、豊富な蔵書があり、学生はより高度な研究を自由に行うことが可能となった。
- ・高度な分析能力を持つ専門職業人を養成する、という本プログラムの目的に沿うよう、科目構成を整理した。
- ・本プログラム所属院生をTAとして雇用し、修学上の支援を行った。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

- ・ワークステーションは最高レベルの処理能力を有するものを複数台用意し、個人ではなかなかできないような長い計算時間を必要とするシミュレーションを可能にした。書籍は専門書だけでなく、資格試験のためのテキストも豊富にそろえ、学生の資格取得に配慮した。データベースは本プログラム関係者以外にも有効なツールなので、学部内に広く告知し活用を促した。
- ・推奨科目、基礎科目、選択必修科目を準備し、コース別に整理して、シークエンスごとの科目履修例を示した。統計学、計量経済学、計量ファイナンスそれぞれのシークエンスに重点を置くパターンがあるが、要件を定め、統計・ファイナンス修了の基準とした。
- ・TAについては、担当授業で履修学生の質問に対応したり、宿題や試験の作成、採点に関わるなど、TAの業務自体が本人の学習にも効果があるように配慮した。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

- ・十分な学習環境を活かした研究をすることにより、高度な専門能力を有する優秀な修士修了生を金融工学の現場に輩出することができた(本プログラムの修了生は、ほぼ全員が金融機関に就職した)。在学中に資格取得を目指す学生も多く、証券アナリスト試験、日本アクチュアリー会資格試験、米国証券アナリスト試験など、毎年のように一次試験(一部)合格者が出ている。データベースの利用者は本プログラム所属の院生だけにとどまらず、学部生、博士課程の学生、留学生など、多岐に渡って広く活用されている。所属する院生の修士論文をよ

り高度なものにすることに大いに貢献しただけでなく、その他の利用者の論文作成や発表をも支援することになった。

- 金融工学教育センターには同じ専攻分野の学生が常に集まり刺激を与えあうので、学生自身にとって、研究活動だけでなく就職活動にもよい影響があったようだ。本取組に参加した学生へのアンケート調査では、満足度が非常に高いという結果が出ている。